

令和5年度高知県健康診査管理指導協議会子宮がん部会 議事概要

1. 日時 令和6年2月8日(木) 18:30~19:30
2. 場所 県庁 第二応接室
3. 出席 委員8名中、7名が出席
4. 議事
 - (1) 子宮頸がん検診の実績等について
 - 1) 令和4年度 子宮頸がん検診(市町村検診)実績について
 - 2) 令和4年度 県全体の子宮頸がん検診の実施状況調査結果について
 - 3) ベセスダシステムによる検診実施状況について
 - 4) 令和5年度 各種検診の検診費用徴収額調べについて
 - (2) 受診率向上対策について
 - (3) 子宮頸がん検診精度管理調査結果について
 - (4) 高知県精密検査実施医療機関について
 - 1) 届出医療機関の審査について
 - 2) 高知県がん検診精密検査実施医療機関届出要領の改正について
 - (5) 検診のデジタル化について
 - (6) 高知県子宮頸がん検診実施指針の改正について
 - (7) 子宮頸がんへのHPV検査単独法の導入について
 - (8) 子宮頸がん無料検診イベントアンケート結果について
 - (9) 令和6年度の新たな取組について(予定)

議事について、県から説明し、意見交換を行った。(主な意見は下記のとおり)

議事については、一部了承された。

((7) 子宮頸がんへのHPV検査単独法の導入については、懸案となった。)

(1) 子宮頸がん検診の実績等について

意見交換等 特になし

(2) 受診率向上対策について

意見交換等 特になし

(3) 子宮頸がん検診精度管理調査結果について

意見交換等 特になし

(4) 高知県精密検査実施医療機関について

委員からは、審査の結果、公表となった施設のその後の評価はどうしていくか、何らかの形でしっかり検査が行われていることの確認や、不備があった場合には、注意する方法を検討してもらいたい、との意見があった。

事務局からは、3年に1回見直しを行うこととしているが、その間の対応については方法を検討したい、との回答があった。

(5) 検診のデジタル化について

問診の簡素化について、性交歴は削除しないこととし、帝王切開歴は削除することとした。

委員からは、問診のスマホ入力等もできるようになれば、受診者や医師の負担軽減になるのでは

ないかとの意見があり、総合保健協会から、検診現場のデジタル化が進んだ後、具体的な時期などは決まってないが、ウェブ問診についても検討している、との回答があった。

また、ウェブ予約システムを作るのであれば、県で一つにまとめていただくとありがたい、市町村毎にシステムをつくと病院がうまく使えないということが起こるとの意見があり、事務局から、理想的なのは県全体でプラットフォームを作り、全ての市町村がそれを利用することであり、令和6年度当初予算要求を検討したが、庁内の協議が整わなかった、との回答があった。

(6) 高知県乳がん検診実施指針の改正について

意見交換等 特になし

(7) 子宮頸がんへのHPV検査単独法の導入について

委員からは、以下のとおり意見があった。

- ・5年毎のHPV検査単独法は産婦人科医会としては受け入れられない。
- ・受診者にとって、受診間隔は軽減するかもしれないが、検診のタイミングを覚えていられるか。
- ・市町村がしっかりと精度管理できるのか。
- ・高知県のHPVワクチン接種率が低い状況で導入するのは時期尚早である。
- ・細胞診で上手く検体を取れない場合もあること、また3年以内に異形成になる人がいる中、5年に1回しか検診の機会が無いのは拾い上げきれぬか心配。

事務局からは、医療機関、産婦人科医会の理解がないところでスタートすることはできないので、県の指針の改正については今後部会で議論する、またそのスキームについては、部会長と相談させていただきたい、との回答があった。

(8) 子宮頸がん無料検診イベントアンケート結果について

委員からは、毎年1回でも続けていくこと大事である、との意見があった。

(9) 令和6年度の新たな取組について（予定）

HPVワクチンの接種事業について、令和6年度末で終了となるが、3回接種する必要があり、打ち始めを11月までにしておかないと終わらないので、その点も含めて広報をお願いしたいとの意見があり、事務局から、接種時期を踏まえて上半期に広告等を集中させている、との回答があった。

その他

委員から、高知学園大学短期大学の学園祭にて、検診バスの中の見学や診察台に乗っていただく等子宮がん検診の普及啓発を実施したと報告があった。

(以上)